令和6年度　江戸川区立南葛西中学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	人権尊重の精神を基に国際社会に貢献できる日本人の育成 １　学びつづける人 ２　思いやりのある人 ３　心身の健康に努力する人	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	＜学校像＞・生徒の能力を高め資質の向上をめざす学校　・入学させてよかったと保護者、地域から信頼される学校　・教職員も資質の向上を常に心がけ、高め合い組織的に協働できる学校 ＜生徒像＞・人権意識、思いやりの心を持ち、自己を大切にしながら他者も尊重できる生徒　・自らの目標を定め、向上心を持ち、主体的、意欲的に学ぶ生徒　・コミュニケーション能力を高め生活に生かせる生徒　・地域の一員としての自覚をもち、地域を大切にする生徒。　・南中プライドを常に胸にとどめ、規範意識のある生徒 ＜教師像＞・生徒一人一人の理解を深め、生徒のより良い育成に使命感を持って取り組む教師　・組織の一員としての自覚を持ちながら学校としての課題の克服に、意欲的に取り組む教師　・教育公務員としての責任ある言動の履行を厳守し、説明責任が果たせる服務を実践する教師　・日常の授業を大切にして、主体的に学びに向かう授業を行うための研修を励行する教師
前年度までの本校の現状	成果：数学・英語の習熟度別少人数授業を行ったことで、生徒の学習意欲が高まった。学習用タブレット端末を効果的に授業で活用し、生徒の学習意欲を引き出すことができた。支援が必要な生徒対する研修会を実施したことでユニバーサルデザインの視点に立った対応について、理解が深まった。関係諸機関と情報共有できたことで、効果的に支援をすることができた。	課題	・図書館司書と協力し、学校図書館の整備を進め、読書科の充実を図る。 ・ＳＳＷ等と協力して不登校生徒一人一人に寄り添い、登校を促していく。 ・学力向上へ向けた取組を進める。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「中間」学校関係者評価(A～D)		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				９月	２月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	○授業改善の推進 ○学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得 ○家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・習熟度別少人数授業（数・英・理）の実施 ・一人１台端末の授業内での効果的な活用	・2月末実施の到達度テストにおいて、昨年度以上の結果 ・毎時間授業で活用し、生徒の満足度８０％以上											
		・外部委託による放課後補習教室の実施と有効な活用（数・英）	・年間１５０回の実施と対象生徒の学力の１０％向上											
	○読書科の更なる充実	・読書科による活用…各学年５～１０回 ・区立図書館職員による学校図書館整備 ・「読書科」についての情報共有及び深化	・活用率８０％以上 ・年間２２回実施 ・各学期１回以上 ・取組評価肯定回答80%以上											
体力の向上	○運動意欲の向上や健康の推進に向けた取組の実施・改善	・体育の授業及び部活動における補強運動の取組 ・ロードレース大会を実施し、生徒の体力向上とスポーツに取り組む達成感や意欲を高める	・新体力テストにおいて、全学年都の平均以上の成果を出す ・ロードレース大会の完走者９０％以上											
共生社会の実現に向けた教育の推進	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実	・特別支援委員会隔週１回の実施	・情報共有し、全教員で取り組む											
不登校・いじめ対応の充実	○不登校対策の実施・充実 ○教育相談の強化 ○hypaer-QUの活用 ○エンカレッジルームの活用促進	・江戸川区子どもの権利条例の理解 ・生徒一人一人に寄り添い、状況把握に努めるとともに不登校対応巡回教員の活用し、SCなど外部の機関につなげる ・学級だけでなく学年や学校で情報共有して活用していく ・校内別室指導支援員を活用し、生徒の復帰を進める。	・不登校生徒に対して、週に１回程度、家庭連絡を行い、必要に応じて家庭訪問を実施する ・SC相談件数の昨年度比増加 ・研修会を実施し、活用を深める。 ・教室復帰2割を目標とする。											

地域社会に開かれた学校（園）の実現	○自校（園）の取組の積極的な発信 ・学校（園）ホームページの充実等 ・学校（園）公開の実施・充実	・すべての教員が更新できるようスキルアップを図る ・設定した公開期間に学校公開を実施する。	・１週間に１回は更新し、情報発信を行う。 ・年４回実施する。												
	○学校関係者評価の充実 ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	・学校評議員会で地域から見た学校の意見をまとめ、教育活動の充実・改善に取り組む。	・学校に対する満足度を８０％以上とする												
特色ある教育の展開	○「学校における働き方改革プラン」に基づく取組の実施	・定時退勤日を設定 ・ＳＳＳ、副校長補佐を活用し、職員の業務軽減を図る ・部活動指導員、外部指導員の活用促進	・月に１回定時退勤日の実施 ・教員の満足度８０％以上												
	○持続可能な社会の担い手を育むため、教科等横断的な視点に立った実践の推進	・ＳＤＧｓへの取組を中心とした、研修とその実践 ・グリーン活動ボランティアの充実	・生徒への取組を各学期に１回実施 ・生徒の取組を８０％以上とする												